

千葉大学医学部附属病院で内視鏡治療および外科治療 を受けられた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026 年 6 月 17 日

消化器内科

消化器内科では、「早期胃癌の質的診断を目的とした CADx システムの有用性の検証」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2024 年 8 月 23 日～2026 年 6 月 16 日の間に胃ポリープまたは胃癌に対して内視鏡治療または外科治療を受けられた方

1. 研究課題名

「早期胃癌の質的診断を目的とした CADx システムの有用性の検証」

2. 研究期間

2026 年承認日～2028 年 3 月 31 日

この研究は、観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

我々は上部消化管内視鏡検査において、胃腫瘍の診断を支援する人工知能(artificial intelligence : AI)を開発しました。本研究は、その有用性を検証することを目的としています。

本研究では、過去に胃腺腫または胃癌と診断され、内視鏡検査や治療を受けられた方の内視鏡画像および診療情報を用います。収集した内視鏡画像を用いて、AI 単独による診断、内視鏡医単独による診断、および AI の診断結果を参考にした内視鏡医による診断を比較し、AI を用いることで診断精度がどのように変化するかを検討します。

4. 研究に用いる情報の種類

内視鏡の画像と、切除した検体の病理所見情報。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：消化器内科 講師 松村 倫明

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院消化器内科および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

（※研究成果の発表後以外に参加拒否の申し出に対応できないケースがあれば、その旨も記載してください）試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

消化器内科 松原 良樹

043（222）7171 内線 6672